

令和3年12月

志登茂

(野村元三重大学長筆)

第56号



本部管理棟(改修前)

志登茂会発行

===== 目 次 =====

特別寄稿	地域共創大学を目指して (三重大学長 伊藤 正 明)	1 頁
特別寄稿	諸先輩方へのご挨拶とご報告 (三重大学企画総務部長 中湖博則)	2～3 頁
	志登茂会会長の7年目 (志登茂会会長 寺西 清)	4 頁
	近況報告 (谷辻正徳)	5 頁
	老人の悩みと明るい人生 (杉谷秀也)	6 頁
	怪我で入院し、感じた事 (諸岡 眞)	7 頁
	志登茂会会員皆さんの気ままな思い等	8～19 頁
	本部管理棟の改修について	20 頁
	事務連絡・編集後記	21 頁



地域共創大学を目指して

三重大学長

伊藤 正 明

志登茂会の皆様には、三重大学の教育・研究活動に対し、ご支援、ご協力を頂いておりますこと、心より御礼申し上げます。私、昨年10月23日に開催された三重大学学長選考会議におきまして第13代学長(任期6年)に選出され、本年4月から学長に就任いたしております。

本学は“三重の力を世界へ”の言葉のもと、昭和24年の建学以来、人と自然の調和・共生の中で、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すことを基本理念としてきました。諸先輩方が作られてきた「樹(松)のみどり」、「海のみどり」、「空のみどり」という《三翠》の自然豊かな広いキャンパスに、5学部6研究科と大学病院が集まって、教育、研究、診療活動を展開しています。

三重県全体を活動フィールドとして広げ、各地域の特性に応じた特色・課題を探究して、三重大学特有の教育研究活動につなげています。産学連携の北勢サテライト、忍者研究の伊賀サテライト、海女研究・海洋生物研究の伊勢志摩サテライト、農林水産省や過疎地域の学校教育に関わる東紀州サテライトなど、地域拠点サテライトが各々のミッションを担って活動しています。今後これらの活動をさらに向上させて参ります。

教育面では、社会の課題を発見し(感じる力)、情報収集してその解決法を考え(考える力)、コミュニケーションを駆使して(コミュニケーション力)、その課題を解決する(生きる力)、という《4つの力》を持った人材の育成を進めています。

研究面では、次世代型電池開発や人間共生ロボティクス・メカトロニクス、特異構造の結晶科学、次世代型VLPワクチン研究開発、次世代創薬・ゼブラフィッシュスクリーニング、コーディネイト育種基盤創生などのテーマを持った卓越型リサーチセンターを設置し、世界的レベルの高度な研究を展開しています。

令和の新しい時代、来年度より始まる第4期中期期間では、三重大学は《知の拠点》として、学内外の組織とのさらなる連携を深め、学部間の異分野横断的な取り組みや、自治体および企業との産学官の地域連携プラットフォーム、国内外の高等教育機関との連携協定など、様々な《知のつながり》を通じて、ポストコロナ時代の教育研究活動を推進したいと考えています。さらに、カーボンニュートラル等の環境問題をはじめとする諸課題を地域と共に探究し、その成果を還元して地域の発展を導き、新しいコミュニティづくりの一役を担う地域共創大学として発展して参ります。

志登茂会皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げますと共に、今後とも当学へのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



諸先輩方へのご挨拶とご報告

三重大学企画総務部長

中 湖 博 則

昨年4月から三重大学にお世話になっています企画総務部長の中湖です。諸先輩方、大変ご無沙汰しております。はじめての方もおられますので大変恐縮ではありますが、自己紹介も兼ねて三重大学のことをご報告させていただきます。

平成4年4月に三重大学に採用され、医学部附属病院医事課や管理課、経理部主計課を所属して、文部科学省に転任しました。その後、京都大学、千葉大学、文部科学省を経て、21年ぶりに三重大学にお世話になることになりました。文部科学省から三重大学への内示を聞いた時は耳を疑いましたが、三重大学に貢献できるよう日々努力する決意で参りました。

若手時代には、良い意味で個性的な方が多く、たくさんの方々にご指導いただきました。直属の上司では、採用当時の係長は山村さんでしたが、仕事での気遣いや気配り、患者さんへの対応など、常に動いていたことを覚えています。隣の係長だった中西治さんとともに、よく飲み連れて行っていただきました。用度係の山田さんは誰に対しても対応は変わらず、仕事に対する責任感がとても強かったことを覚えています。司計係長だった大西さんは仕事とゲームが大好きで部下には非常に優しく、仕事が夜遅くまでかかっても楽しかったことを覚えています。主任の北山さんは仕事をやっているふりのコツを教えてくださいました。こうして振り返ってみると、ここには書ききれないほどの、たくさんの先輩方の姿が懐かしく思い出されます。若手時代に育った職場での環境や一緒に働いた方々は、将来の自分に大きく影響を与えるものなので、大切な時間であります。当時は今では考えられないほど不自由なことばかりでしたが、自分に与える影響という意味でとても良い環境で仕事することができました。

文部科学省では、国会質問対応という国会議員からの質問に対して担当者が答弁を作成する業務がありますが、質問する前日ぐらいに国会議員から質問内容が出されるため、担当者は急いで答弁と関係資料を作成することになります。国会質問に備えて夜遅くまで待機したり、たくさん質問されれば明け方までかかることもあります。退庁後でも呼び出されて答弁作成することもあり、泣きながら仕事をしたこともあります。

予算関係業務では、9月から12月下旬まで財務省との予算折衝があり、予算確保のために、財務省に必要理由を説明します。財務省が必要理由を理解しない場合は、課に戻って追加説明資料を作成して、ふたたび気合を入れて財務省に突入するのですが、よく振り返りされました。そんな日の夜はサラリーマンの街、新橋の夜に消えていきました。

京都大学では、大学のすぐ近くに宿舎がありましたから歩いて通勤していました。鴨川も近くにあり、天気の良い休みの日は、鴨川周辺を散歩したり、寺院巡りしたり、自転車に乗ってカフェに行ったりと、東京での夜の遊びから一変して、清々しい日々を過ごしていました。川端

通りの神宮丸太町駅を1本中に入ったところに「京のつくね家」というお店がありますが、この鴨なんぼと親子丼は本当においしいので、是非、一度は食べに行っていたきたいです。

千葉大学では、附属病院＝白い建物の概念を覆し、木目調の外壁デザインで、院内は掲示板がないホテル風の病院を竣工しました。よくドラマの撮影場所として使われている、斬新な病院らしくない病院です。大学は千葉市にあるので、東京から遠いというイメージがあるかもしれませんが、十分に通える距離で、フットサルで脚を骨折した時でも、自動車や電車で通っていました。

現在、三重大学では、学長と執行部を中心に教職協働で、来年度から始まる第4期中期目標・中期計画に向けて、自治体や企業とともに学部・研究科等の組織を越えた分野横断的な取組みや、学生と教職員のモチベーションの向上、本部棟の改修（現在改修工事のため、総合研究棟Ⅱに仮移転中）、正門やキャンパス内の改造計画、ホームページのリニューアルなど、内面と外面の両面から検討を進めています。一方で、昨年度から、色々とお騒がせして、先輩方にはご心配をお掛けしてしまいました。それぞれの問題を受けて、教職員の行動指針やコンプライアンス指針を作成・配布、関係取扱要項の改正や関係手続きの見直し、各種コンプライアンスに関する研修の充実など、コンプライアンスの徹底と再発防止策に取り組んでいます。

企画総務部長として立場も変わりましたが、企画総務部メンバーとともに、これまで積み上げられたしっかりとした土台の上に新たな考え方や取組を加えて、大学運営の向上に努めています。色々取り組んでいく中で思ったことは、諸先輩が検討を重ね、作り上げてきたものは、今さらですが良く考えて作られたものであると実感しています。

事務部には、これからの大学を支えていける優秀な係長や係員がたくさんいて、このまま変わらず向上心と協調性を持って前向きに取り組んでいけば、素晴らしい活躍が期待できますのでご安心ください。

最後に、新学長のお言葉「失敗を恐れずに何事にも挑戦していきたい！」を心に留めて、三重大学は新たにスタートすることをご報告するとともに、いつでも職場の部屋のドアは開けておきますのでお近くにお越しの際は、ご遠慮なくお立ち寄りいただき、元気な顔を見せていただけると幸甚です。



志登茂会会長の7年目

志登茂会 会長
寺西 清

私、平成27年度～令和2年度までの6年間、会長職に就いてきましたが、実力不足と加齢・心身の衰え等を考え、昨年度(令和2年度)の役員会で「会長を当年度で退任させてほしい」との意向を伝えました。役員会にて種々検討して頂きましたが、後任者が見つからず止む無く7年目の会長を続けることになりました。実力不足のため会員の皆さまにいろいろとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、何卒ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染防止を重視し「春の総会・親睦食事会」そして「秋の懇親行事」も止む無く中止させて頂きました。

今年度はコロナ感染も終息するだろうとの強い思いもあり、志登茂会活動の全てを再開しよう意気込んでいましたが、新型コロナウイルスは衰えることなく感染者は増加の一途をたどっており、仕方なく「春の総会・親睦食事会」を中止させて頂きました。「秋の親睦行事」までには新型コロナの感染力も衰え感染も治まるだろうと期待していましたが、感染者数は一向に減退せず、秋の行事の実施を決定する役員会開催時には、感染状況は第5波にまで進み、感染者数が驚異的に増加し、三重県にも「緊急事態宣言」も発布され、最高時には500人を超える感染者が確認されました。このような異常な状況になり、役員が集う会合も開催できず、メール・手紙等にて各役員の意向を伺い苦渋の思いで「秋の親睦行事」の中止を決定させて頂きました。

2年間続けて会員同士が「顔を合わせの出来る」全ての行事を中止せざるを得ない結果になってしまい「会長は何をしているのか！！」と非難されるかと思いますが、昨年度に続き重ねて皆さまに「申し訳ありませんでした。」と心中より深謝いたします。新型コロナ禍の状況を勘案して頂き、何卒ご理解の程宜しくお願いいたします。

昨年から新型コロナウイルスにより日本のみならず世界中が翻弄されており、政治・経済・教育・家庭生活等全てにおいてその影響を大きく受けています。楽しみにしていた東京オリンピックの開催も、1年間延期となり開催時期も8月になり、開会式～競技～閉会式までの全てが無観客という異常と思われる状況で運営されました。

また職場等におけるコロナ感染防止対応として我ら退職者からは想像できないような多様な勤務形態等(例えば在宅勤務、フレックス出勤、オンライン会議・授業等)が講じられているとのことです。これを契機にこれらの新しい対応はコロナ感染が終息しても定着し存続することになるでしょうネ！

各家庭におかれても種々の制約が課せられ会員の皆様も多々ご苦勞なさっておられると思いますが、政府もしっかりコロナ感染防止対策を講じてくれています。近い内に感染も終焉を迎えるでしょう。その日が一日も早く来ることを切望し、会員一同が老体を大切にしつつ元気でその日を待機しましょう。



近況報告

新入会員
谷辻 正徳

稲刈りも終え、秋の深まり感じる今日この頃、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この令和3年4月より志登茂会にいたしました谷辻です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

私は4月より、財務部経理チームの再雇用職員として、使送業務を担当させていただいております。このコロナ渦の中でオンライン授業に伴う郵便物の増加、また事務局建物の改修に伴う事務組織の分散・移転による学内便の増加で、使送用電気自動車(トヨタ自動車のコムス)も悲鳴を上げております。しかしこのコロナに負けずと、コムスのボディーには「環境推進大学」の名前を掲げ、毎日大学内を走り続けております。

また地元伊賀市では、「農事組合法人 ふるさとファーム長田」に加入し、休みの日は田んぼの草刈りに追われております。ちなみに、本法人は伊賀市の JA では少し有名で、水稻(伊賀米コシヒカリ)を約 300 千㎡作付けしております。このコシヒカリは地元組合員をはじめ、伊賀ふるさと農業協同組合にも卸しておりますので、もし、ご希望のある方は私まで連絡いただければと思います。なお私自身が味音痴でお米の味は……。でも、新米はとても白く、美味しいと思います。

末筆ながら、これから寒さ厳しくなる折、皆様方にはご自愛いただきますようお願いいたします。



老人の悩みと明るい人生

杉谷 秀也

私は大正15年生まれ、95歳です。足腰がだんだん弱くなってきましたので、体力をつけようと思い、スポーツジムのランニングマシンで走っていたところ、脇見をして怪我をしました。それ以降ランニングマシンで走ることを止め、水泳プールの中を40分程度歩くことにしました。最近まで自転車で行っていた近くのスポーツジムが利用者減少により閉店しましたので、8月から自宅から4.7軒離れた津市上津部田の総合文化センターの隣のスポーツジムへ行っています。私に一番あっている運動は、水泳プールの中を歩くことです。運動をした後は空腹になり、食もおいしく非常に幸福感を覚えます。

私は70歳くらいの時に胃癌になり、胃を全部摘出しました。その後非常に快適で胃のないこと等全く忘れていきます。

先日、ジムでたまたま会った70歳くらいの男性の方が、私に「酒は飲めますか」と尋ねてきました。私は、「酒は飲めない」と言うと、その人も「自宅は酒屋をしているが酒は飲めない。しかし、酒は少々飲めた方がよろしいなあ。」と言われ、私も同感だった。「今はアルコール分3%とか、1%とかという缶ビールもありますよ。」と教えてくれました。その後、酒専門店へ行き、アルコール分1%の缶ビールを買ってきて、妻と二人で飲んだところ、今までのノンアルコール缶ビールと違う味に酔いました。

話は変わりますが、私が毎年苦しんでいるのが喘息です。最近は大部軽くなってきましたが、1年に2週間程度は症状が出ます。近所の医師が「自分は土・日・夜間は医院にいないので、一度遠山病院で診察してもらい、カルテを遠山病院に保存してもらっておくとよい」と言われ、遠山病院の女医さんに診察してもらいました。すると、女医さんは「95歳にもなって、自動車を運転して受診に来るのは止めなさい。」と強く言われました。私はその強い口調に驚きました。

その少し前、元工業技術院長をしていた90歳の老人が人身事故を起こした事件がありました。誰が聞いても、ブレーキとアクセルの操作ミスだと思いますが、元院長はなかなか認めなかった。収監されるようになって認めたようですが、同じ90代の男性の事故であり、一層運転を慎重にしなければならないと痛感しています。

いよいよ人生百年時代です。長生きしても家の中だけにいるのではつまらない。

自動車も良くなってきた。道路も良くなってきた。青空の晴天である。老人も外へ出て大いに深呼吸をしたいと思います。



怪我で入院し、感じた事

志登茂会幹事 諸岡 眞

昔の言葉に日々順調に暮らしている時、ちょっとした油断や気の緩みなどで、有頂天になってはいけないという戒めの言葉である「好事魔多し」と云うことを嫌と云うほど思い知らされたことを自戒を込めて皆様に披露します。私は、定年・再雇用と無事熟し、65歳以降毎日早朝のモーサテ(朝の経済放送)視聴から一日のワークが始まり、証券市場が終わる3時まで、巢立っていった子供部屋を改造し、中古のハイスペックパソコンを並べたディーリングルームで趣味と実益を兼ねた自称「諸岡経済研究所」をやっています。これは既報の通りですが、これでは体が鈍るので以降は毎日隣市にある県営鈴鹿スポーツガーデンで水泳を楽しむ日課を過ごしていました。昨年暮れも迫った12月夕刻7時前、帰宅しようと暗がりの駐車場で車止めに足を滑らし転倒してしまい、水泳道具を持って、無理に踏ん張ってしまいアキレス腱を切断してしまいました。6か月も多少足を引きずりながら市中の整形外科を転々とし、嫌々一年発起して鈴鹿回生病院で入院手術を決断したのが、6月下旬でした。ちょうどコロナ禍ワクチン済みでない、手術しないとのことで、7月中旬まで延ばされ、OPE→闘病生活に入りました。

ここからが本題で、入院生活が過酷極まりないものでした。今までの人生で大病したこともなく親に感謝しなければなりません、①手術が順調に成功したかのようにでしたが、整形外科によくある患部の感染で、2回目のOPEで洗浄、それでも治らないので、3回目のOPEで内部の縫合した縫合糸の撤去でやっと治癒になった次第です。脊椎麻酔下でのOPEで自覚があり、大学病院のOPE場より清潔感がなく、そのせいかと疑い深くなりました。その間抗生剤の点滴で両手はボコボコ状態で、最悪なのが点滴台付車椅子でトイレに通わなければならない、閉口しました。②入院生活は9時消灯、3度の患者給食のみ。パソコンがある訳がなく、Wi-Fiが完備してなく携帯ラジオも電波状況が悪く、相部屋で息の詰まる思いで、ただじっと寝ているのみの地獄の50日でした。何もせず、じっと1日寝ている辛さは、今までの日々何不自由なく過ごしていたことが、如何に大切なものかと痛感した次第です。③じっと1日寝ていると頭は思考停止、筋肉は段々痩せていき、老いる速さは倍加していくことが目に見えて判りました。人間「病」は全ての人生生活が階段を転げ落ちるようになることが実感できました。最後は自分1人です。この病院は付近の介護施設から骨折で沢山の老人が送り込まれて来ますが、その看護の扱いを見るにつけ、安全大事ですが血が通ってないと云うかゲージに飼われている鶏と同じでした。今は水泳も再出発し復調ぎみですが、我々退職者はどんどん老いていき、最後は寝たきり老人になっていきます。これはしっかりと生活をしないとえらいことになるなど感じた次第です。

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
1	辻 千津子	昭和59年3月	
2	杉谷 秀也	昭和61年3月	6頁をご覧ください。
3	勝谷 武	昭和63年3月	
4	小菅 佳年子	昭和63年3月	
5	山北 信子	平成 4年3月	
6	遠山 雅三	平成 6年3月	<p>令和2年当初からコロナ・ウィルスに国内全域が翻弄されました。その余波を受けた志登茂会は活動自粛、会員相互の交流もままならず寂しい限りです。人々の交流が閉ざされる日常に、閉塞感・うつ・倦怠感におびえましたが、皆様の対コロナ奮闘談を伺いたいものです。</p> <p>私は「不用・不急」・「三密」・「マスク・手洗」を呪文の如くに感染防止に努めるかたわら運動・趣味・人との交わりに欠けないよう無い知恵を絞ってます。</p> <p>幸い感染状況は終末傾向に見られます。あとしばらくの辛抱だーと頑張ってます。</p>
7	藤森 迪哉	平成 6年3月	<p>昭和30年7月16日三重大学農学部採用され、平成6年3月まで38年間御世話になりました。退職後は生家でもある名張市に1人住んでいます。今迄近所の人達にもお世話になったお返しをして過ごしております。もうすぐ90歳となります。</p> <p>買物等には自動車で出かけます。</p> <p>大学では仕事は庶務系で主として人事ばかり、退職後も全学的に友人として交流しております。</p> <p>志登茂会は終生在籍させていただくつもりですが、行事には参加出来ないと思います。</p> <p>今後ともよろしくお付き合いをお願い致します。</p>
8	高岡 秀	平成 8年3月	<p>ご無沙汰致しております。 昨年の会費を怠りましたことお詫び申し上げます。</p> <p>さて、昨年の5月からは自宅にて車椅子生活を送っております。つきましては、勝手ながら退会をさせていただきたいと存じます。長い間大変お世話になりましたことを御礼申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。</p>
9	金森 章	平成 8年3月	<p>85歳相応に元気に過ごしております。</p> <p>心身の少しでも元気うちに身辺整理をしようと思い立ち、趣味の一つである長年楽しんできた書道作品が随所に放置したままの状態であり、その整理に着手しました。 個々の作品の制作過程の思い出が蘇り、なかなか整理作業が捗りませんが、頑張っって処理を続けたいと思っております。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
10	松田 隆作	平成 8年3月	後期高齢者の域に達し、足腰、方々に痛みを感じ、筋力が低下しました。健康保持のためと思い、天気の良い日は朝散歩に出ています。今のところ寝込まず平々凡々たる日々を過ごせることに感謝しております。新型コロナウイルスの感染もずいぶん減りましたが、未だ未だ安心出来ません。一日も早く収束することを願っております。
11	西口 章一	平成 9年3月	
12	渥美 文毅	平成10年3月	いつもお世話様でございます。 夫、文毅は去る9月21日に83歳の生涯を閉じていってしまいました。生前のご厚情に心よりお礼申し上げます。 (奥さんからの伝言です。)
13	大嶋 勝彦	平成11年3月	
14	原林 幸一	平成12年3月	
15	浦田 孝一	平成14年3月	今年もあと2か月となりました。 振り返ってみますと、旅行、観劇、高校野球観戦を毎年行っていたのですが、今年は何れも行けませんでした。 私の近況ですが、毎年家の中で散歩、筋トレ(ゴムを使用)、ラジオ体操等しております。 以前、山登りを毎日していたのですが、行けなくなりました。75才を過ぎてから体力がガタッと落ちた気がします。 幹事さん、いつもお世話になり、ありがとうございます。
16	黒川 清司	平成14年3月	加齢による心身の衰えを実感する年令になりました。 コロナ禍が追い打ちをかけてきますが、日々何とか前向きに生きていたいと考えています。 皆様もどうかいつまでもお元気でお過ごしください。 寺西会長はじめ役員の皆さんには、いろいろご苦勞をおかけしていますが、どうぞよろしく願います。
17	大市 勝子	平成15年3月	

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
18	寺西 清	平成15年3月	<p>昔の思い</p> <p>私が、三重大大学の職員として採用されたのは昭和38年10月で、その当時は、学芸学部(教育学部の前身)と農学部の2学部でした。 学芸学部は丸之内にあり、附属小学校は観音寺に！中学校は上浜町に！幼稚園は亀山市に！そして農学部と附属農場は上浜町に！第二農場は千里に！演習林は美杉村にありました。また図書館は上浜町にあり、丸之内には分館があったと記憶しています。 事務局は上浜町にあり、庶務、会計、施設の3課、学生部は学生、厚生部の2課でした。</p> <p>私は会計課の総務係に配属され、その時の職場での計算事務は全て『そろばん』で対処していました。そして多数必要とする印刷物(予算配分書、会計検査調書、概算要求書等)は、ヤスリ版の上の原紙を『鉄筆』で丁寧に文字を刻み、『手刷りの謄写版』で印刷し、それを机の上にページ順に並べ編纂しました。また当時の暖房は、『石炭ストーブ』で、そのストーブを囲み多々雑談を交わしました。</p> <p>今も偶には、斯様なたわいない昔のことが脳裏を過りますが、皆さんは如何ですか？</p>
19	村岸 萬喜男	平成15年3月	
20	加藤 孝生	平成15年9月	<p>コロナ禍とシニア活動について</p> <p>2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染が確認され、緊急事態宣言等が繰り返し発令され、ようやく2021年9月末で解除されました。</p> <p>その間、我々の豊が丘シニアクラブの活動も大部分自粛の形で中止となっておりましたが、ようやく10月から活動を再開しました。</p> <p>活動自粛中は、世話役として何もしなくて楽やなあ…と思いながら、家庭菜園にしか行けないような毎日を過ごしていました。</p> <p>充実感・満足感がなく、体力・気力が衰えてくのがわかりました。旅行等も行けず、物足りない約2年弱を過ごした感じがします。</p> <p>だが、10月からいざ活動が再開すると急に忙しくなり、以前のコロナ禍のゆったりした、のんびりしたことが懐かしく思えることがあります。</p> <p>妙なもので人間の身体は、習慣に馴染んでしまうものだと、つくづく思っています。</p> <p>来年始めには第6波が来るかも知れませんが？、コロナ治療薬もでき、インフルエンザのような病気になってほしいものだと思います。</p> <p>来年こそ志登茂会の活動が元に戻り、皆様とお会いできることを楽しみにしています。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
21	河合勝己	平成16年3月	<p>私は、今年5月に自宅玄関の段差で足を踏み外し膝等を強打し、整形外科で膝、腰、肩及び首等4種のリハビリ治療を週2回受けることを常とした日々を過ごして居ります。</p> <p>なお、後期高齢者の仲間になりましたが自身の体力の衰えを今回痛切に感じた次第となり情けなくなって落ち込んでおります。最後になりましたが、寒さを感じる季節到来となりましたが、皆様の益々の健康を祈念しております。</p>
22	北川昭義	平成16年3月	<p>私の生活パターン</p> <p>退職してから18年が経過していますが、何故かアツという間に過ぎ去ったような感覚であり、まさに、「光陰矢のごとし」であります。この間、医者のお世話にもならずには過ごしてはいますが、近頃、よる歳には勝てず、物忘れがひどく、自分自身であきれている今日このごろです。</p> <p>今年2月から鈴鹿市シルバー人材センターの紹介で近くの病院の夜警員の仕事に就いています。月10日程度の宿直業務ですが、実際は、夜中の巡回と電話番程度のものであり難しいことはありませんので、もう少し続けてみようかと思案しているところです。</p> <p>天気の良い日は、80坪ほどの畑を耕し野菜作りに励んでいます。丁度、今は、玉葱の植付け、エンドウ、蚕豆の種蒔きを終え、一段落したところです。農作業の合間に、榎の木の生垣の刈り込み、松の手入れ、花壇の植付け等で過ごしています。</p> <p>雨の日は、一日中、家の中で何もしていないと気が滅入るので、6年程前から「一人俳句」に励んでいます。少しは脳の訓練になればと思っておりますが、...これが、私の生活のパターンです。</p> <p>最後に最近詠んだ俳句を発表します。</p> <p>○返り花競うが如し梅二輪 ○夜回りの名月拝む八十路かな</p>
23	菅野 薫	平成16年3月	<p>かつて、職場の大先輩から「稲のことは稲に聞け」との格言があった。その訓えどおり実体験を通して得た知識や技能は決して心身から離れない。このことを三重大学職員として体験出来たことは、今思うと自分の生きざまとしてはよかったと思っている。</p> <p>昨今、医療の進歩をはじめ食品のバランスがとれた栄養摂取や生活環境の改善等により、人生百歳時代の到来と言われるようになってきた。</p> <p>人生百歳となった場合「喜寿」の迎えはまだ半分残っているとの思いを新たにして、世間様にご迷惑かけることなく日常生活を送る上で健康に留意しながら、今迄経験してきた農作業を行いながらこれからも自然とともに農耕生活を通して生きる幸せを感じつつ余生を全うしたい。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
24	杉本 勇	平成16年3月	<p>皆様お変わりございませんか。コロナ禍で何処へも行けず、ストレスを感じながら家庭菜園や庭木の剪定作業に励み、時には孫や近所の子供たちと戯れております。そして夕方になるとウォーキングを人通りが少ない農道や河川の堤防を延べ4km程(うち、前向き歩きを約2km、後ろ向き歩きを約2km)・所要時間は1時間余りのペースで歩いております。</p> <p>特に後ろ向き歩きを取り入れたお陰で持病の腰痛解消や膝関節の改善・下半身の強化になったのではないかと考えています。皆様も機会をみて是非一度お試し下さい。</p> <p style="text-align: right;">小生のルーチンでした。……</p>
25	寺嶋 資文	平成16年3月	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため何かと不自由ですが、歳相応に元気です。</p>
26	長谷川 美穂子	平成18年3月	<p>ご無沙汰しております。</p> <p>月日の経つのは早いもので、退職して17年、アツと言うまでした。今はコロナ禍で何もかもが以前のようにはいかず、以前は良かったなあと思つづく思っています。</p> <p>車通勤で週2回程アルバイトと、サークル活動とで人様と会うように心がけ、もう少し頑張つて楽しみを見つけながら生きて行こうと思っております。会員の皆様もどうぞお元気で楽しい老後をお送り下さいますように、これからも宜しくお願い致します。ありがとうございます。</p>
27	村田 克	平成19年3月	
28	井上 務	平成20年3月	<p>このところコロナの感染者数も少なくなってきましたが、まだしばらくはおとなしくしているつもりです。</p> <p>大学を退職後13年余り、電気設備関係の仕事の続けてきました。しかし、最近遠隔地への自動車での移動、高所での業務に不安を感じるようになってきたこともあり、本年9月末日で退職しました。</p> <p>50年以上ずっと働き続けてきましたが、これからは家で体を休めて、のんびりと好きな趣味を楽しみながら過ごしたいと思っています。</p>
29	服部 美佐子	平成20年3月	<p>新型コロナウイルスで30年近く趣味としていた踊りが自然消滅しました。</p> <p>メンバーは高齢化のため少人数で細々としていましたが、利用施設が閉館となり、練習できなくなったのが大きいかと、加えて先生も県外へ出られず講習会もなくなりました。</p> <p>長期間になるにつれ、気力が失せて休暇となりました。</p> <p>コロナがなければ、老体を押してでも続けていたかも？</p> <p>今となっては、新しい曲に入るたび、中々覚えられず、忘れるのは早いナアなんて笑顔で雑談していたのが懐かしいです。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
30	赤塚正夫	昭和55年3月 転勤 平成20年3月 (長崎大学)	メンバー全員の御顔を忘れないためにも、一日の早く集会の機会を設けて欲しいです。 思い切って行動しませんか。
31	中西和康	平成21年3月	平均寿命が男性81歳、残り10年を切ったが、今年念願のリフォームに着手し、先ごろ完成した。この間住み続けながらの工事だったので、初めは不用品の処分に手を付けたが、市が行っている家庭ごみの収集日だけでは処分できず、工事日程、天候に合わせて市の処分施設までの運搬と忙しい日々が続いた。 その後は部屋が整う度に家財道具の移動と夏の暑い中、体力と気力に欠ける時もあったが、家内が愚痴もこぼさず率先して動いてくれたので、現在ようやく元の日常生活戻りつつある。
32	長嶋重次	平成21年3月	今年から家庭菜園を始めました。トマト、ピーマン、ナス、シシトウ、サツマイモ、アスパラガスを栽培しています。 なかなか楽しいものです。皆様も健康に気を付けて下さい。
33	沼田敏男	平成21年3月	今年の夏就寝中、右足に強い痛みと痺れが有り、一晩中眠ることが出来なく朝を迎え、整形外科で診察の結果「椎間板ヘルニア」と診断されました。農業では重い物を持ちたり、中腰の作業が多く職業病かと思えます。 幸いにも1日で痛みは無くなりました。しかし痺れと筋力の低下が残り、リハビリを週1日現在も続けています。 (バドミントンもリハビリと思って寺西会長や菅野さんと楽しんでやっています。)
34	廣信幸	平成21年3月	皆様お元気ですか。 私、変わらず三医会事務局に勤務しています。 退職後12年目ですが、休みの日にはできるだけ出かけるように心掛けて、錆びつかないように気を付けています。 コロナで自粛を強いられていますが、良くなったら旅行にも行きたいと思えます。体の動くうちに。
35	諸岡真	平成21年3月	7頁をご覧ください。
36	大西幹雄	平成22年3月	大変遅い出来事ですが、昨年初孫が生まれました。 コロナの影響で会えるのは少し気を付けていますが楽しみです。 皆様もまだまだコロナには気を付けて下さい。

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
37	吉村 裕幸	平成22年3月	<p>秋の稲刈りも一段落、相変わらず朝晩ネット囲碁、週4回のテニスと週一ゴルフを目標に楽しんでいます。また、密造酒4年目となる、蔵出しならず「小屋出し生(ラガー系)」を現在80リットル仕込みました。年末に20リットルと「どぶろく」作りを行うつもりです。</p> <p>先般、健康診断結果が届きました、不正脈と高血圧の疑いで再検査です、コロナウイルスで呑み会少なく肝機能ベスト状況と思いきやγGTP何時も通りの高データークソコロナの思いです。</p>
38	市川 知恵子	平成24年12月	<p>コロナの時は自粛生活でした。 コロナが落ち着いてきたので、その時は参加できなかった平成28年度志登茂会親睦交流行事でありました朝津味レッドヒルヒーターの森へ行ってきました。レッドヒルヒーターの森の見学は自由行動でしたが、参加されました方はここを歩いて回られたのだなと感心しました。</p> <p>ハロウィンが近いこともあり、入口を入った所にハロウィンの作り物がありました。私は、これを見て元気をもらいました。体力をつけていつかレッドヒルヒーターの森をすべて回る事ができたら嬉しいだろうなと思いました。</p>
39	中西 治幸	平成24年3月	<p>コロナ禍に思ったこと</p> <p>一昨年暮れから始まり約2年になる新型コロナですが、ワクチン接種も進み、新規感染者も急激に減少し、10月1日から緊急事態宣言も解除になり、やっと明るい兆しが見えつつあるようになりました。これまで政府の対策は、想定の甘さと科学的なエビデンスによらないことばかりで、後手後手となり、挙句の果てにこの日本で医療を受けられず、自宅療養中に亡くなる方が多数でした。今夏は、もしコロナに感染したらと心配な日々を過ごされた方も多かったことと思います。</p> <p>日常生活が徐々に取り戻せつつあり、やっと娘や孫たちとの行き来もできるようになり、孫の成長を楽しみつつ、会いたい時にいつでも逢えることに、古希を過ぎたわが身にとってこの上ない喜びを感じています。</p> <p>また、趣味の方では、幸いにしてアウトドアばかりですから大きな支障もなく、精神的には助かりました。昨年からは始めた釣りでは、近場(御殿場海岸、香良洲海岸、白子漁港等)でキス、ハゼ、メバルにガシなど小物をターゲットに天気と潮に相談しながら楽しんでいます。ゴルフは一向に上達しませんが、誘われたら断らないことをもっとうにあちこちのゴルフ場に出掛けています。</p> <p>志登茂会も総会とか日帰旅行ができないため、皆さんと会う機会がありませんが、来年こそは再会できることを信じ願っています。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
40	前田 政彦	平成24年3月	<p>退職してから9年、月日の経つのは早いなと最近つくづく感じております。現在は、医学部先端医科学研究棟(旧医学部校舎)で同窓会などの仕事を、先輩の廣さんの指導を受けながら勤めています。昨年からコロナ禍でWEB講演会があったり、以前とは様変わりしております。最近、感染者数も激減しており、このまま収束したらいいのにと願っております。</p> <p>今の生活では、定年退職と同じくして、古民家で薪ストーブを焚いて楽しんでいます。朝夕が冷え込んできたことから10月末から焚きはじめています。もう10年近くになるので、薪集めなどを早くから楽しみにして、チェーンソーで木を切り、薪割りをしています。何年かして分かることですが、当然、木は切ってもすぐには使えず、2~3年乾燥が必要で、「2年もの」、「3年もの」この期間が大事です。そうでないと燃えません。</p> <p>それと、始めの焚きつけの準備が必要で、何か簡単に優雅に見えますが、そう簡単にはいきません。それが面白いところです。</p> <p>他には、コロナ禍の折りですが、旅行も行きたい思います。少し前に、信州、安曇野、松本城、長野 小布施に行ってきました。旅行はいいものです。温泉♨はやはり最高です。露天風呂がいいです。また行きたいと思っています。</p> <p>皆様も今はコロナ禍で大変ですが、お身体大切になさっていつまでもお元気でいてください。</p>
41	村山 充	平成24年3月	<p>「こだわりの鉄路探訪」</p> <p>鉄道をこよなく愛し、昭和48年頃から48年間撮りためて写真をFacebook公開中(8年目)。少子高齢化が深刻な地方を持続可能な発展に導く鉄道に魅せられて観光・環境・交流を軸に雇用と関心でつながる(5K)SDGsな未来へ軌道に乗せる鉄道の魅力を津々浦々列車と駅の昔と今、四季折々の写真記録を連日アップし、鉄道関係者や関心ある友達に、津から世界へ発信中。基本的に週一度は鉄路探訪(コロナ禍で最近日は帰り、近場)。このモチベーションと歩くこと、そしてFacebookが健康増進の秘訣と心得ています。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
42	瀬古 一 巳	平成25年3月	<p>古希を迎えて</p> <p>今年もあと2か月で終わろうとしています、1年が段々短く感じるようになりました。</p> <p>最近は何に会っても名前が出てこないことがあり、テレビで見る俳優に妻から「あの人なんという名前の人やった?」と聞かれても、よく見る顔でも名前が出てこないのは困ったものです。</p> <p>この前は妻から「ここにあったあれ知らん?」と聞かれて、「あれやったらそこに置いといたよ」というと、傍にいた息子は二人のやり取りが会話になっている様子にあきれていたが、夫婦を45年もしていると通じるのが不思議である。(笑)</p> <p>若いころ乙女の妻も姑乙女となり、「スケジュール手帳」が「お薬手帳」に変わり、日々の健康に気を使い、小生は毎日の晩酌が至福の時間で明日への活力となっています。</p> <p>また皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。</p>
43	世古 昌也・ みき子	平成26年3月	<p>お返事遅くなり、申し訳ありません。</p> <p>このコロナ禍で思うように旅行や遠出が出来ず、老親の介護もあり、もっぱら県内、伊勢市周辺をウロウロしています。</p> <p>夫は、週3~4回シルバー人材センターの仕事をし、妻は趣味の教室に通い、家ではお花を育てたり、お菓子作りをして過ごしております。</p> <p>コロナが収束し、又元気な皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。</p>
44	松山 壽男・ 恵子	平成26年3月	<p>先日、脳ドックを受診しました。</p> <p>その後パソコンの画面で説明を受け、異常がありませんでした。</p> <p>血管が立体的に表示、色まで鮮明でした。</p>
45	伊藤 謙一郎	平成27年3月	
46	倉野 敦夫	平成28年3月	<p>今年3月末を持ちまして、2回目の卒業ということで退職させていただき、早7か月が過ぎました。現在、以前手術しました股関節と手のリハビリを兼ねて、ちょっとした運動(ハイキング、バド)と倉庫等これまで気になっていました片付けを行い、山積していた工具等を集めて工房となるような作業場作りを楽しみに行っています。</p> <p>野菜作りも母と一緒に少しだけ行っていますが、まだまだしゃがんでの作業が難しいため、慌てずゆっくりと健康に感謝しながら毎日をごささせていただきます。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
47	伊藤文雄	平成29年3月	<p>新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見られず、多くのマラソン大会が中止となっている。三重県で緊急事態宣言が出された8月、会務を掌理するランニングクラブは週例会を一時期は自主練習に変更し、自己の練習場所も人が少ないところで行った。</p> <p>春から夏の間は安濃ダムに向かい伊賀越(長野峠)との往復を月に一度のペースで行うなどコロナストレスに負けないよう工夫に努めました。</p> <p>20年続けている「生命の駅伝」は四日市等では中止となったが、志摩市を走ることが出来ました。網膜剥離など幾度も眼の手術をしており、がん研究支援の応援は今後も続けたいと考えています。</p> <p>休日には市民大学等への参加も始めました。</p> <p>今後ともよろしくお願ひします。</p>
48	大西真二	平成29年3月	<p>相変わらずゴルフに夢中の日々を送っています。</p> <p>しかし、スコアはまったく伸びない状況です。</p> <p>誰か教えてください。お願ひします。</p>
49	葛西勇	平成29年3月	<p>10月で65歳になりました。</p> <p>母親の介護をたまにしておりますが、自分にも介護保険被保険者証が届き、歳やなど実感しております。</p>
50	栗田敏幸	平成29年3月	<p>延々と続いた不自由な日々は漸く明るい兆しを感じる様になりました。とは言え「未だ油断は禁物」と己を戒める日々は暫く続くと思っております。</p> <p>私は今年度末をもって再雇用期間が満了となります。昭和50年の入職以来、名古屋大学での出向期間3年を含め、都合47年の長きに渡りお世話になりました。まさに人生の大半を過ごし、多くの思い出と感謝を胸に「卒業」いたします。</p> <p>今後は、「老いと戦う日々」が続くこととなりますが、これからは肩の力を抜き、のんびりと過ごせる様に心掛けたいと思っております。</p> <p>親睦会等復活の折に会員の皆様との再会を楽しみにしております。</p>
51	中西勝	平成29年3月	
52	東川正朗	平成30年3月	<p>現在自治会役員をしています。</p> <p>コロナ禍で自治会行事も中止になったり、満足に活動ができない状況です。7月と10月のコロナ禍の合間に和歌山県と静岡県2泊3日の小旅行を楽しんでいます。</p> <p>体力維持のため、散歩や草刈りそして山登りをしています。</p>
53	木村信之	平成31年3月	

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	皆さんの気ままな思い
54	中島 英雄	平成31年3月	<p>もう本当にウンザリしていますが、“コロナ”という言葉を書かない日はありません。</p> <p>そんな中、今年変えたことと言えば、天気の良い日は自転車で通勤するようにしました。3月に手ごろな自転車(色はジャイアントカラーのオレンジ、7段変速)を買って、自宅から大学までの約3.5kmを快適に走っています。約20分弱の短い時間ですが、出来るだけ一番重いギアで走っているので、大学に着くと10月でも汗びっしょりです。朝は、季節の移り変わりを感じる事ができ、とても気持ちが良いです。(最近は何日の入りが早く、帰りは結構怖いです。)</p> <p>あと、何故か、円周率を100桁覚えようと思い立って、脳トレのつもりでトライしています。中学時代(50年前?)に、数学の教科書に載っていた43桁までは覚えていたので、そんなにストレスなく少しずつ覚えていって、現在、100桁はクリアして、150桁というところです。</p> <p>多分束の間だと思いますが、緊急事態宣言が解除され、スポーツも外食も旅行もできるようになりました。感染対策は継続しながらも、各自体調と相談しながらそれぞれの楽しみを満喫しましょう。</p>
55	山崎 晴夫	平成31年3月	
56	稲垣 義一	令和 2年3月	<p>令和2年3月で長年勤務した三重大学を定年退職し、その後を選択したのが再雇用職員の申出でした。4月に特任一般職員として、組織変更された教育学部チーム附属学校事務室に配属され、1年と7ヶ月が経過しました。附属学校の現場も、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じての授業や学校行事の実施等々で管理職、先生方のご苦労は相当のものです。私も、今までには経験したことのない慣れない職種で何かと忙しい日々を過ごしており、「定年退職前の選択が正しかったのか」と考えてしまうこともあります。</p> <p>私生活面では、緊急事態宣言下には運動不足の毎日が続いておりましたが、ようやく10月1日で解除となってからは好きな運動(テニポン(室内テニス)、バレーボール)を仲間と楽しんで、職場のストレスを発散しています。それと、緊急事態宣言下で増えたのは、「家呑み」の量ですね。歳のことを考えたら、控えめには分かっているものの、つつい毎晩のお酒の量を減らすことができない生活です。</p>
57	下 初	令和 2年3月	<p>退職2年目も同じ職場で半年が過ぎました。</p> <p>コロナ感染症も少し落ち着いてきたようですが、マスク生活はまだまだ続いており、県外に遊びに出かけることもできていません。</p> <p>仕事帰りにはジムに寄って、風邪なども引かずに過ごしています。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い等

(退職年月順に表示)

No.	氏 名	退職年月	皆さんの気ままな思い
58	前 川 豊 孝	令和 2年3月	<p>退職して1年半以上が経ちました。 再雇用で出発した現職場にも慣れ、毎日楽しく過ごしています。 退職時から始まったコロナ禍の中、思うように外出もできない日々が続きましたが、ワクチン接種も2回目が終わわり、ようやく落ち着きかけて来たかなと感じます。 まだ、安心はできませんが、感染対策に万全を期して、紅葉の美くなるこの時期、どこかへ出かけて秋を満喫できたらと願っています。 これからも健康で元気に過ごしていけるようにしていきます。</p>
59	山 田 浩 之	令和 2年3月	<p>定年後2年目となりましたが、引き続き病院財団三翠会に勤務しております。 コロナ禍もようやく沈静化の兆しが見えはじめ、一般の患者さんも徐々に増えて病院にも活気が戻り(良いことなのか?)かけており、院内コンビニなどの売り上げ回復を期待しているところです。 個人的には、巣籠もり飲酒のおかげで、高尿酸血症に加え高血圧の治療薬も毎日飲むはめになっており、朝晩の血圧と体重を記録しつつ、数値の回復を期待しているところです(自制しなさい！ハイッ)。</p>
60	谷 辻 正 徳	令和 3年3月	5頁をご覧ください。

○ 本部管理棟等の改修について

令和3年10月から本部管理棟及び翠明荘の老朽化対応及び利用変更のため全面改修工事を実施しています。完成予定は今年度末です。

事務局各フロア	1階:財務部
	2階:企画総務部(総務チーム)・役員室・会議室など
	3階:企画総務部(人事労務チーム・企画戦略チーム)
	4階:施設部
	5階:監査チーム・監事室・小会議室など

翠明荘は、利用目的を現在の宿泊施設からミーティングルーム(外部への貸出も検討中)などに変更し、改修後は名称も「翠明会館」に変更されます。

本部管理棟改修後の外観イメージ図



本部管理棟改修後の1階フロアのイメージ図



事務連絡

本年も前年通り、三翠会館内事務室に職員が常駐して、「志登茂会」のお世話をしておりますので、会費納入方法、その他のお問合せ・連絡については、下記までお願いいたします。

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学部三翠会館内

執務時間：平日 9時から16時

電話：059-231-9677

Mail：dosokaijimu@ab.mie-u.ac.jp

編集後記

表紙の写真は、現在本部管理棟の改修工事を行っておりますので、改修前の本部管理棟の写真に掲載しました。

特別寄稿として、伊藤学長から「地域共創大学を目指して」と題し、執筆していただきました。昨年10月23日に開催された三重大学学長選考会議において第13代学長(任期6年)に選出され、今後の抱負等について説明していただき、今後の三重大学を知る良き機会となり有難く感謝申し上げます。また、中湖企画総務部長から「諸先輩方へのご挨拶とご報告」と題し、三重大学採用時の諸先輩との思い出話を交えながら、文部科学省及び各赴任大学における思い出について説明していただき、古き良き時代を思い出す機会となり感謝申し上げます。

また、3名の会員の方々から、「近況報告」等の投稿をいただきました。

投稿いただきました皆様には、ご協力感謝申し上げます。

今年もコロナ禍により、総会及び親睦交流行事が中止になったため、各会員に「会員皆さんの気ままな思い等」の記事について投稿を改めて依頼しました。

ご協力いただきました方には、心よりお礼申し上げます。

本年10月より老朽化した本部管理棟及び翠明荘の外壁及び内装の全面改修が行われており、入手できた改修後の情報についても掲載させていただきました。

会報発行は、例年通り役員一同の「手作り」で、写真のすべてをカラー版としました。

今後の投稿記事につきまして、幅広く会員の皆様からいただきたいと思っておりますので、その節にはご協力のほどよろしく申し上げます。

最後に、会員の皆様方の益々のご健康をお祈りいたします。

(編集者一同)